



この写真に注目

第 18 号

平成 27 年 9 月 15 日発行

佐賀県聴覚障害者
サポートセンターだより

みみよい

なお知らせ!

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日

池に浮かぶ小舟と踊る魚が水面に描く軌跡



納涼竹あかり写真撮影勉強会

武雄市御船山楽園の池の水面に映し出された映像と5000個の竹灯籠による「納涼竹あかり」の撮影会を行いました。今回初参加の2名を含めて計6名のろう者と指導者北村先生他です。難しい夜景を撮るため、前日に勉強会を行い本番に臨みました。写真は平方由佳里さんの作品です。(8月17日)

21名がアフターファイブ手話講座修了

介護・医療関係や会社員、行政職員など21名が修了。仕事を終えた後に熱心に学習に取り組まれ最終講座では、覚えたての手話や身振りを交え、ろう者との会話に目が輝いていました。今回の講座をきっかけに手話学習や聴覚障害理解の学びへつなげてほしい。(8月19日)



交流会に参加した
ろう者平川さんの感想
短い講座で皆さんがたくさん
の手話を覚えていて驚きました。
受講生と手話で通じ合えたこと
がとても嬉しかったです。



かなじ

金持さん [唐津市出身] 三冠王

唐津市出身で大阪体育大学4年生の金持義和さん(21才)がアメリカ サンアントニオで8月17~22日に開かれた世界ろう者水泳選手権大会の男子背泳ぎの50m、100m、200mで優勝、3冠王となった。

50mは世界新記録27秒06、100m、200mは大会新記録をマークされた。

2年前の第22回夏期デフリンピック(ろう者のオリンピック)でも50mで金メダルを獲得されている世界の第1者である。(8月28日)



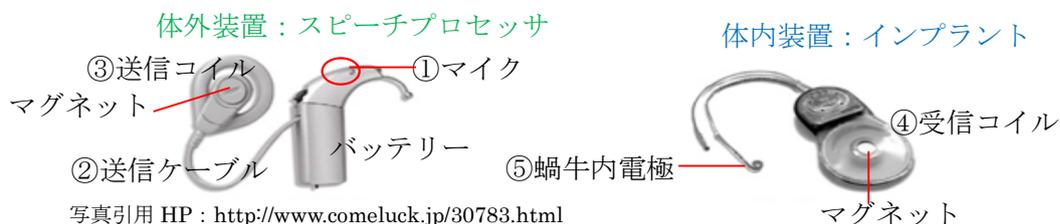
平成 27 年 8 月 19 日
この夏、一番の笑顔



聴こえの仕組みシリーズ 15

今月は、「人工内耳（じんこうないじ）の仕組み」についてです。人工内耳とは左右共に平均聴力レベル 90 dB以上、補聴器装用効果が得られない方が対象とされる、埋め込み型の聴覚補償機器です。日常生活音を拾うスピーチプロセッサと呼ばれる体外装置とインプラントと呼ばれる体内装置の2つから成り立っています。

音の伝わり方は、①マイクから音を拾い、音声信号処理が行われる。②送信ケーブル、送信コイルを通り、手術で埋め込んだ体内装置④受信コイルへと情報が伝わる。インプラントの先にある渦を巻いた先が⑤蝸牛内電極となっており、ここから電気信号が聴神経・脳へと伝わる。③と④の中心にはマグネットがついており頭皮を挟んで磁力で張り付いている。またインプラントは故障しない限り使い続けることができます。



のぞいてみよう！ 聴こえの仕組み

ICTタブレット講座開始 好評により ICT タブレット講座第2回開講です。職員の中でも ICT に長ける2人が担当します。講師（右：堤）と手話通訳士（左：清田）、ろう者5名でのスタート。初回は基本操作と検索方法について実施しました。（8月21日）



人工内耳ボタン電池助成の働きかけ

人工内耳の外観は補聴器ほどの大きさですが、一度にボタン電池2、3個（機種により異なる）必要なうえ約3日で消耗するため、年間360個必要、購入費は3～8万円と高額になります。装用者の負担が大きいことから、ボタン電池購入費助成を町村会等へ要請しました。（8月6日）



公立文化施設情報保障調査

夏真っ盛りの中、当センターの参事（ろう者）が当事者の立場から県内22カ所を巡り現地調査をしました。聴覚障害者に対する保障は甚だお寒い状況でした。火災、地震等緊急時の避難のお知らせは音声放送のみや展示の案内も音声ガイドのみで文字情報による説明がない等聴覚障害者に対する情報保障は大半ありませんでした。施設への要望を取りまとめ当事者から提案したいと思っております。（7月24日～8月18日）

軽度中等度難聴児に対する補聴器助成が始まりました。

身体障害者手帳を所持できない軽度中等度難聴児の補聴器購入費用は全額自己負担でした。補聴器の耐用年数は5年で再購入の費用や成長に合わせた耳栓作り、故障や破損の修理費、電池代はご家族にとって大きな経済的負担でした。今年3月、当センターにて山口県知事が軽中等度難聴児及び保護者にお会いされ、同時に自治体への働きかけ、8月「軽度中等度難聴児補聴器助成事業」開始されました。早速数件の申請報告がありました。この事業を県内へ浸透させるため当センターからも発信していきます。

※県内在住の18歳未満、両耳聴力30 dB以上70 dB未満の難聴児が対象です。詳細はお住まいの市町福祉担当課ご確認ください。

「佐賀県難聴者・中途失聴者協会」と

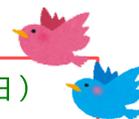
「虹の会」へ寄付

N・T氏が『佐賀県難聴者・中途失聴者協会』、佐賀県要約筆記サークル『虹の会』の2団体へ寄付をされました。虹の会の山津会長は、「日頃、なかなか要約筆記者に目がいかない中、私たちに注目くださったことに大変感謝しております」と気持ちを述べられました。

（8月26日）

お知らせ

編集後記：今月から編集に加わります。頑張ります。



- 難聴者のおしゃべりひろば
毎月第4金曜日(9月25日)
13時30分～15時30分
筆記用具を片手に聴きにくい言葉は文字にしています。
- 上映会 ※聴覚障害者対象
毎月第3土曜日(10月17日)
10時～12時です。
『長崎ぶらぶら節』出演：吉永小百合、渡哲也…他

- 巡回聴こえの相談～in鳥栖市(10月21日)
10時～15時
要予約制で聴力測定、難聴者のピアカウンセリングを行います。聴こえに不安がある成人の方が対象です。
- 要約筆記者養成講座※受講生募集中
(10月17日～翌年3月19日 毎週土曜)
10時～15時 全21回

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商工ビル4階)
TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705
メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp
ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30～18:00
9:30～20:00(水曜)

<閉館日>

毎週月曜日、祝日